

生物多様性いちかわ戦略の主な事業について

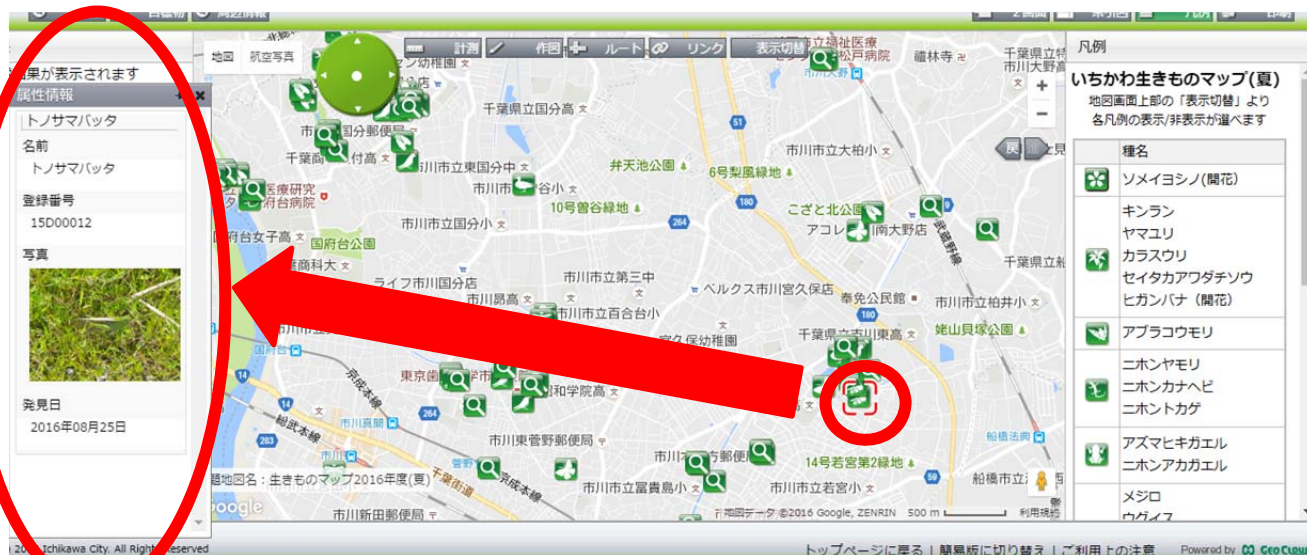
1. 生物多様性モニタリング事業

市内の自然環境を調査し、生物多様性いちかわ戦略の施策の効果等を検証するために実施している。参加を希望する市民や環境団体、事業者を調査員として登録し、市内各地での生きものの発見情報を収集している。

(1) 調査手法

- I. 調査範囲： 市川市内全域が調査対象
調査員は日常生活の範囲で発見した生きものの情報を市へ報告する。
- II. 調査対象： 市が指定した指標生物（平成 28 年度は 29 種）
- III. 調査員： 市民 49 名、環境団体 26 名、事業者 5 名（合計 80 名）
(平成 28 年 10 月現在)
- IV. 評価方法： 指標生物の確認数を集計し、数字の推移から自然環境の状態を評価。経年的な変化からその推移を把握する。
- V. 調査結果： 発見された生きものの情報を、市の地図情報システムである「いちかわ生きものマップ」へ掲載・公開。

● 「いちかわ生きものマップ」 市公式ホームページで公開中



(2) 平成 27 年度の調査結果 (H27 報告数 **388 件**)

- I. 草地の減少 [ヒバリなど草地の生きものの報告数が少ない]
- II. 中心的な自然環境の維持 [自然豊かなエリアでは報告数が多い]
- III. 哺乳類、爬虫類・両生類の減少 [これらの種の報告数が少ない]

指標生物たち



カワセミ



オニヤンマ

調査員向けの研修会



大柏川第一調節池緑地にて

2. 多様な主体との協働による取り組み

市民や事業者等へ生物多様性保全の考えを浸透させるため、自然環境課が主体となって様々な関連事業を展開している。

- (1) 自然環境講座 (H27 : 全 6 回 参加者 94 名) **対象 : 市民**
 - ・自然に親しむ機会を市民へ提供する講座。
 - ・市内の各地域に広がる自然環境を会場にした自然観察を行う。
 - ・自発的な学習や行動につなげることを目的とする。
- (2) 生物多様性セミナー (H27 : 全 1 回 参加者 51 名) **対象 : 事業者など**
 - ・市民や事業者の活動に生物多様性保全の考えを広めるセミナー。
 - ・商工会議所などを通じて、事業者等へ開催周知。
 - ・市内の事業者が実践する生物多様性保全に向けた取組を紹介。
- (3) 緑地関連事業 **対象 : 市民、緑地等土地所有者、樹木管理者等**
 - ・「緑のボランティア団体」支援を通じた緑地整備・保全 [市内 16 か所]
 - ・「緑地等保全事業」による山林・緑地等所有者への補助金交付 [約 38.1ha]
 - ・「保存樹木協定制度」によるクロマツ・巨木の保全 [178 本]